

第4回鎌倉名画座「麥秋」

生涯五十四本の映画を作り、日本映画史に数々の名作を残した
小津監督の1951年の作品「^{ばくしゅう}麥秋」をお楽しみください。

日時	2009. 9. 20(日) 14:00開演
会場	鎌倉生涯学習センターホール
入場料	全席自由 前売:800円 当日:1,000円
チケット発売日	発売中
チケット取扱い	<窓口のみ> 【鎌倉】 たらば書房(鎌倉駅西口前)、松林堂(鎌倉駅東口前)、 ビストロガレ(鎌倉生涯学習センター内)、 鍋木清方記念美術館、鎌倉文学館 【大船】 島森書店大船店(大船駅東口前)
主催・問い合わせ	財団法人鎌倉市芸術文化振興財団 TEL 0467(23)3755

上映映画情報

^{ばくしゅう}
「**麥秋**」 1951年 松竹作品 124分 モノクロ

監督/小津安二郎 脚本/野田高梧、小津安二郎
製作/山本武 撮影/厚田雄春 美術/浜田辰雄 録音/妹尾芳三郎
音楽/伊藤宜二 照明/高下逸男 編集/浜村義康
出演/原節子、笠智衆、淡島千景、三宅邦子、菅井一郎、二本柳寛、
東山千栄子、杉村春子、佐野周二、高堂国典 ほか

<あらすじ>

北鎌倉に住む老植物学者間宮周吉(菅井一郎)の娘紀子(原節子)は、丸ノ内の貿易会社の専務佐竹(佐野周二)の秘書である。佐竹の行きつけの築地の料亭「田むら」の娘アヤ(淡島千景)と親友で二人とも未婚である。周吉の長兄茂吉(高堂国典)が上京、紀子の結婚話が、時を同じくして佐竹が自分の先輩の眞鍋との縁談を進める。間宮家では、周吉夫婦、兄康一(笠智衆)も佐竹からの話に乗り気になり、紀子も幾分その気になっている。しかし古くからの間宮家の出入りである矢部たみ(杉村春子)の息子で亡き妻との間に3歳の娘がおり、康一と同じ病院に勤務する謙吉(二本柳寛)が、急に秋田の病院に転勤が決まったとき、紀子は謙吉こそ自分の結婚すべき相手であることに気づき、やがて謙吉とともに秋田へ去る。周吉夫婦が大和へ引き上げるとき、ちょうど大和はさわやかな麦秋であった。

第4回 鎌倉名画座 小津安二郎監督作品



麥秋

2009.9.20 [日]

開場 13:30 開演 14:00

会場: 鎌倉生涯学習センターホール

入場料: 当日1,000円 前売: 800円

チケット取扱い場所:

<鎌倉> ビストロガレ(鎌倉生涯学習センター内) たらば書房(鎌倉駅西口前)

松林堂書店(鎌倉駅東口前) 鎌倉文学館 鍋木清方記念美術館

<大船> 島森書店大船店(大船駅東口前)

主催・お問い合わせ: 財団法人鎌倉市芸術文化振興財団 TEL 0467(23)3755 (火~土 9:00~17:00)